



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	断酒会にたどりついたあなたへ (4)
Author(s)	眞崎, 睦子
Citation	かがり火, 164, 21-21
Issue Date	2011-07-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/62155
Type	article
File Information	kagaribi-4 .pdf



この連載も残り3回、「断酒会」はだれのもの?」―次号まで2回にわたってあなたとを考えていきたいテーマです。お付き合いください。

興味深いことに気が付きました。個々の例会に、個々のカラー(色)、ちよつとした違いがあるのです。運営のスタイルから、体験談のご様子まで―全国各地にこれだけ多くの例会があるわけですから、それも自然なことですね。

ある家族の集まりでは、長年ほぼ決まった顔ぶれであっても、開始時に毎回、約束ごとを確認なさいます。

断酒 エッセイ



同じ顔ぶれだからこそ、「言いつ放し・聞きつ放し」の時間を、それ以外の貴重なおしゃべりとは分ける形で大切になさっているのです。新しい方にとっては、それが安心材料になり、古参の方には、心の切りかえに役立つでしょう。他の自助グループにも同様の例があります。また、司会を参加者が順番に務めるところあり、お茶とおやつが並ぶところあり、会ごとの色の一つ一つがあなたかく、同じ思いをされたであろう、お互いを労わる気持ちがあられわっているようです。時代でしょうか、ホームページ上の情報発信が素晴らしい

い会もあり、そのサイトの充実した彩りに感服することもしばしばです(東京断酒新生会、等)。

「体験談にも会ごとの違いが?」

はい。淡々と心の引き出しを整理しながら、ありのままを話される方が多い中、例えば、一部に、誰かに訴えかけるような、誤解を恐れずに言えば、語り手を演じられているかのような方が目立つ会もあるようです。いつのまにか体験の色が薄れ、説教のように聴こえる場合もあります。

断酒会にたどりついたあなたへ(4)

北海道大学大学院

眞崎

睦子

まり他者の真似をするということ。それは観察から始まります。特に通い始めたばかりの方は、「どうすればいいの?」と思うことがいっぱい。リーダー的な人がいたら、その人を眺めて、「この人のようにすればいいのだろう」と思っても当然ですね。私も新しい環境に移動したときは、先輩を観察しながら色々と学んできました。運営のスタイルや、体験談に、会ごとの違いや傾向が生まれる背景にはそういう事情があるのかも

す。失礼ながら、これらに違和感のようなものを感じたことがあります。いえ、決して、悪い感じを抱くわけではないのです。伺ってみると、「人に感動を与える話し方」を目指しているのだとか。断酒会は「話し方教室」ではないはず、と考え込みました。

なぜ、このようなことが起こるのでしょう。会によって小さな違いが生じるのでしょうか。

一つには、リーダー的な役割を担う人々の影響の大きさがあります。人間には他から学習する能力があります。その代表的なものが模倣―つ

しれません。しかし、それは、何から何まで、いつまでもどこまでも、リーダーに従えば間違いない、ということではありません。度を過ぎると、例えば、リーダーが「佐藤さん」あるいは「鈴木さん」という方だとしましょうか、断酒会であるはずの集まりが、特定の個人の影響が色濃くあらわれた「佐藤会」「鈴木会」のような集まりになってしまふ、そして、それに気付いた方の足が、会から遠のく一因になってしまふ、そんな負の展開に注意したほうがよさそうです。

「断酒会是谁のもの?」と改めて

考えてみると、どんなに小さな例会であつても、特定の個人の考えが、断酒会の理念を歪めているとしたら、それは、悪意がないとしても、私物化です。「私の会はまさにそれ、だから嫌だ」と思われた方、それを正すのは、よかれと思って少し頑張りすぎたリーダーの反省だけではなく、会に集うお一人おひとり、「あなた」の自立の力ではないでしょうか。断酒会は、会長やリーダーだけのものではありません。通うことをやめたり、隣の会に移ったりする前に、あなたが少し立ちどまって「あなたの会」を見つめ直すことも、その会をより居心地のいい場所に変える鍵となるかもしれません。断酒会は「あなたのもの」でもあるのです。そして、実は、「あなたのリーダー」は、他の誰でもない、あなた自身なのです。リーダー的な役割を果たしている方々も、あなたの小さな声、想いを尊重なさるはず。それができるからこそリーダーなのです。彼らは、ちよつど今のあなたのように、色んなタイプのリーダーを眺めながら、自身と向き合い、断酒会を実現してこられた先輩です。それは、リーダーに共通する体験であり、断酒会の財産です。

ではまた『かがり火』のこのページでお目にかかります。